

保険者訪問

山海の豊かな恵みと自然を
先進的営みで未来につなぐ
環境モデル都市

水俣市



初夏のバラ園



親水護岸「恋人の聖地」から恋路島を望む

水俣市は、熊本県の南端、鹿児島県との県境に位置しています。西は八代海（不知火海）に面し、美しいリアス式海岸や歴史情緒あふれる温泉街、環境をテーマにした施設・公園などがあります。平成 23 年に九州新幹線が全線開通して新水俣駅が停車駅となり、熊本駅から 30 分弱、福岡県博多駅からも約 1 時間とアクセスが良くなりました。

市の南西部にある「エコパーク水俣」は水俣湾埋め立て地に造られた県下最大級の公園で、道の駅やバラ園、スポーツ施設、親水護岸などがあります。バラ園では 750 種ものバラが栽培され、300m のバラの壁やつるバラのトンネルなどもあって、香りや美しさを楽しむことができます。春と秋の 2 回「ローズフェスタ」が開催され、愛好家や観光客でにぎわいます。親水護岸には「水俣病犠牲者慰霊の碑」が建立されていて、毎年 5 月 1 日に慰霊式が行われます。対岸に浮かぶ「恋路島」はその名前から若いカップルに人気のスポットで、恋路島と美しい海を眺めることができる親水護岸の一角は、NPO 法人地域活性化支援センターにより平成 23 年に「恋人の聖地」に認定されました。毎年 7 月から 8 月にかけては、山海の神に感謝をささげる「恋龍祭」や、市内外のチームが舟の速さを競う勇壮な「競り舟大会」が開催されます。

また、水俣市は昔から菓子店が多く、スイーツを巡るまち歩きが楽しめます。さらに、長崎から伝わり古くから市民に愛されているちゃんぽんに加え、タチウオやサラダ玉ネギ、シラスといった特産の食材を使い、各店が工夫を凝らしたオリジナル料理など新しいグルメも次々に誕生し、好評を博しています。



人 口	26,559人
国保被保険者数	7,348人
一般	6,867人
退職	481人
後期高齢者数	5,048人
世 帯 数	12,178世帯
国保世帯数	4,561世帯
医療機関 等数	医科 23機関 歯科 9機関 調剤薬局 17薬局
担 当 課	市民課

(平成 26 年 4 月末現在)

水俣市は県内でも医療費が国保、後期高齢者ともに高く、平成 20～24 年度における年間の 1 人当たり国保医療費は県内 1、2 位で推移しています。23 年度を見ると県平均を 10 万円以上上回り、全国でも第 3 位と高い状況でした。一方で特定健診受診率は低く、これらの状況改善に取り組んでいるという市民課でお話を伺いました。

伸び悩む特定健診受診率

特定健診は、がん検診と同時実施の集団健診を、9 月に約 1 週間、保健センターで（総合健診）、10 月に約 2 週間、保健センターのほか地区の公民館など市内 5 カ所で（複合健診）、それぞれ実施しています。平成 23 年度からは個別健診も 9 月から 12 月に実施しています。特定健診の自己負担は 800 円です。

7 月に健診の申し込みを受け付けて、集団健診を申し込んだ人には「受診券 A」を、申し込まなかった人には個別健診のお知らせと「個別健診用受診券 B」を郵送します。（受診券 B については、次項にある「医療機関からの情報提供」をご参照ください。）

受診率は制度開始以来伸び悩んでいて、平成 25 年度は 40 歳代 18.9%、50 歳代 19.3% と他の市町村同様若い世代で特に低いのですが、60 歳代、70 歳代でもそれぞれ 23.1%、24.7% という状況です。受診率が上がらない理由の一つとして、医療機関・ベッド数ともに多く、高血圧や腎臓病、生活習慣病などで治療中の人が多いことが考えられます。

特定健診受診時には受診者全員に対して、過去の健診データと当日分でわかる範囲のデータを見ながら、保健師・栄養士・看護師合わせて 5～6 人による保健指導を実施しています。当年分の健診結果が出てからではなく、特定保健指導前のやり取りということもあってか、自分の生活状況を素直に話される人も多く、本音が聞ける場ともなっています。

集団健診受診後の特定保健指導は委託で行っており、実施率向上のために、初回面接のときに健診結果を渡すようにしています。平成 25 年度の実施率は 43% でした。委託先での保健指導を利用拒否される方もいるため、地区担当による訪問指導等を実施してフォローするようにしています。

その他の健診事業として、平成 24 年度から 30 代健診を実施しています。費用は特定健診と同じ 800 円で、対象者 400 人弱に対して受診者は約 60 人とどまっています。受診結果から生活習慣病予備群の人も多いので、もっと多くの人に受診してもらって早期発見につながればと考えています。

また、人間ドック受診費用の 7 割助成を行っています。30 歳以上で保険料の滞納のない国保被保険者を対象に、市の広報誌で募集しています。定員は一般ドック 65 人・脳ドック 55 人計 120 人で、こちらは応募が多くて抽選になることもあります。

医師会の協力のもと、 医療機関からの情報提供に取り組む

特定健診受診率向上に向けて毎年試行錯誤している中で、平成 25 年度から取り組んでいるのが、医療機関からの情報提供事業です。治療中の人のデータを医療機関から提供してもらうことで特定健診受診とするもので、健診項目に足りない場合は追加検査してもらいます。追加検査費用については受診者の負担はなく、市が負担します。

取り組んだきっかけは、隣の鹿児島県では早くからこの事業に力を入れていて、隣接する出水市でも最近始めたことです。また、水俣市健康づくり推進協議会の会合で、市の医療費の実態や特定健診受診率の話をしたことがあり、同協議会のメンバーである水俣芦北郡市医師会長からも「受診率向上のために取り組んでみては」と提案されました。そこで、出水市の取り組みを参考に、医師会に取りまとめをお願いし、協力してもらえる医療機関を募集したところ、市内の多くの医療機関の協力が得られました。事業開始前には各医療機関を回って事業の流れを説明しました。

7月から送付する「個別健診用受診券 B」を「特定健診受診券・情報提供票」とし、表面に受診可能な医療機関一覧を載せて、裏面は検査結果など医療機関記入欄と本人の同意書となっています。この受診券 B を医療機関に持っていけば、情報提供か健診受診ができることになります。

平成 25 年度は約 120 件のデータ提供がありました。今年度も個別健診と併せて取り組んでいきたいと考えています。

特定健診受診券・情報提供票 (平成25年度) B

この受診券は特定健診(メタボ健診)を病院で受診したい方や、通院している病院で受診したい方用の受診券です。下の医療機関で受診できます。

1【病院で特定健診を受診したい方】

- この受診券と「保険証」を用意して、受診したい旨を病院に電話をし、受診日をご相談ください。(下の表の健診に○がついている病院で受診可)
- 受診日には、この受診券と「保険証」を必ず病院にご持参ください。
- 特定健診費用は800円です。(年度末年齢41歳の方は無料)

2【通院している病院で特定健診を受診したい方】

病院に通院している方も、下の表の通院に○がついている病院で特定健診を受けることができますので、裏面の質問と同意欄に記載のうえ、病院にご提出ください。
※特定健診は通常病院で受けている検査と比べて検査項目が多く、身体の状態について詳しくわかります

《特定健診ができる医療機関一覧》

医療機関名	住所	電話番号	健診	通院
A病院	○町○丁目○-○	○-○-○	○	○
B病院	△町△丁目△-△	△△-△△△△	○	○
C病院	×町×丁目×-×	××-××××	○	○
Dクリニック	□町□丁目□-□	□□-□□□□	○	○

<特定健診を受けましょう>

- 特定健診受診率の目標値は65%(全国)ですが、水俣市は22%(平成24年度)で、県内最下位です。
- 水俣市は高血圧や腎臓病、生活習慣病の方が多く、一人当たりの年間医療費は約50万円と高額です。病気の早期発見と予防、医療費抑制のためにもぜひ受診してください。

カナ	生年月日	昭和
氏名	性別 男女	有効期限 平成
郵便番号	〒	〒
住所	被保険者番号	水俣国保
	被保険者番号	00430058
	被診費用	800円

【医療機関記入欄】

治療中の疾患名(主病名)	主病名:	項目	結果	追加検査実施 (○を記入)	注意事項
身体計測		身長	cm		小数点以下一桁
		体重	kg		小数点以下一桁
		体脂肪	%		小数点以下一桁
血圧		BMI	kg/m ²		小数点以下一桁
		収縮期血圧	mmHg		小数点以下一桁
血中脂質検査		拡張期血圧	mmHg		小数点以下一桁
		中性脂肪	mg/dl		小数点以下一桁
肝機能検査		HDL-コレステロール	mg/dl		小数点以下一桁
		LDL-コレステロール	mg/dl		小数点以下一桁
		GOT (AST)	U/l		小数点以下一桁
血糖検査(いずれか一つで可)		GPT (ALT)	U/l		小数点以下一桁
		γ-GT (γ-GTP)	U/l		小数点以下一桁
尿検査		空腹時血糖	mg/dl		小数点以下一桁
		HbA1c (NOSP値)	%		小数点以下一桁
		尿糖	- ± + 2+ 3+		
		尿蛋白	- ± + 2+ 3+		

【質問票】

質問事項	回答欄
現在、血圧を下げる薬を服用していますか	1 はい 2 いいえ
現在、インスリン注射又は血糖を下げる薬を服用していますか	1 はい 2 いいえ
現在、コレステロールや中性脂肪を下げる薬を服用していますか	1 はい 2 いいえ
医師から糖尿病(血糖値、糖化ヘモグロビン)にかかっているといわれたか、検査を受けたことがありますか	1 はい 2 いいえ
医師から高血圧(収縮期、拡張期)にかかっているといわれたか、検査を受けたことがありますか	1 はい 2 いいえ
医師から腎臓病(腎臓)にかかっているといわれたか、検査を受けたことがありますか	1 はい 2 いいえ
現在、腎臓病に罹患していますか。(※今年度中に合併100未満、又は6ヵ月以上経過しており最近1ヵ月も経過している方)	1 はい 2 いいえ

【医師の意見等】

○医師の診断 1 □ 異常を認めず 2 □ 要指導・要観察 3 □ 要治療
(要指導・要観察) ○メタボリックシンドローム判定
1 □ 基準該当 2 □ 予備該当 3 □ 非該当 4 □ 判定不能
○保険指導レベル
1 □ 積極的支援 2 □ 動機付け支援 3 □ なし 4 □ 判定不能

※追加検査実施日 又は基本項目記入年 平成 年 月 日

医療機関住所
医療機関名
医師名 医療機関番号

【本人同意欄(同意)】
この情報提供票より、医療機関から水俣市に特定健診の結果を提出することに同意いたします。また、検査結果により特定健診指導を受けることについて同意します。

平成 年 月 日
住所:
氏名:

個別健診受診券 B (左) の裏面 (右) は、医療機関からの情報提供票

出前講座で健康課題を市民に伝える

平成 24 年度から、市の健康課題を市民に知ってもらうことを目的に、健康づくり出前講座を開催しています。対象者は健康づくり推進協議会の所属団体や自治会の婦人会・老人会などで、年間 4~5 団体及び 4~5 地区で開いています。地区で実施する場合は、地区の食生活改善推進員協議会と共同で行い、希望があれば調理実習を行うこともあります。開催日時は土日・平日、昼・夜などさまざまで、参加者が集まりやすい曜日・時間帯を選んで実施し、毎回 10~20 人の参加があります。



平成 25 年 7 月開催の出前講座の様子

水俣市は医療費が県内上位というだけでなく、患者割合が、腎不全で県下 14 市中 1 位・県内 3 位、糖尿病・高血圧・脂質異常・人工透析者割合で県内上位など、生活習慣病も非常に多い状況にあります。講座の中でこれらの状況を説明することで、参加者に市の健康課題を実感してもらうことができ、実際に、開催した地区によっては特定健診受診率が少し上昇したという効果も出ています。効率はいくつかかもしれませんが、顔が見える範囲での出前講座をこれからも続けていきたいと考えています。

その他、医療費適正化に向けた取り組みとして、医療費通知やジェネリック医薬品差額通知、レセプト点検などを行っていますが、なかなか効果が上がらない状況で、こちらも地道に継続していくしかないと考えています。

国保税の現年分収納率は県下 14 市中上位をキープ

国保税の賦課・徴収は税務課が担当しています。平成 20 年度以降の現年分収納率を見ると 93～94% 台、県下 14 市中上位で推移していて、24 年度も 94.4% で 14 市中 2 位、県内 20 位でした（「熊本県国民健康保険事業状況報告書」より）。

収納率向上に向けて、平成 25 年 1 月に滞納整理システムを導入しました。また、訪問徴収の廃止、延滞金の完全徴収、分納の廃止（1 年以上になるような分納をしないことで、長期にためないようにする）などを実施するとともに、徴税吏員の技術向上のため、自治大学校や市町村アカデミー、実地研修等、各種研修に職員を派遣しています。

さらに、県の徴収チームと合同で併任徴収に取り組んで検索や差し押さえも実施し、県や他の市町村との合同公売会などへも参加しています。

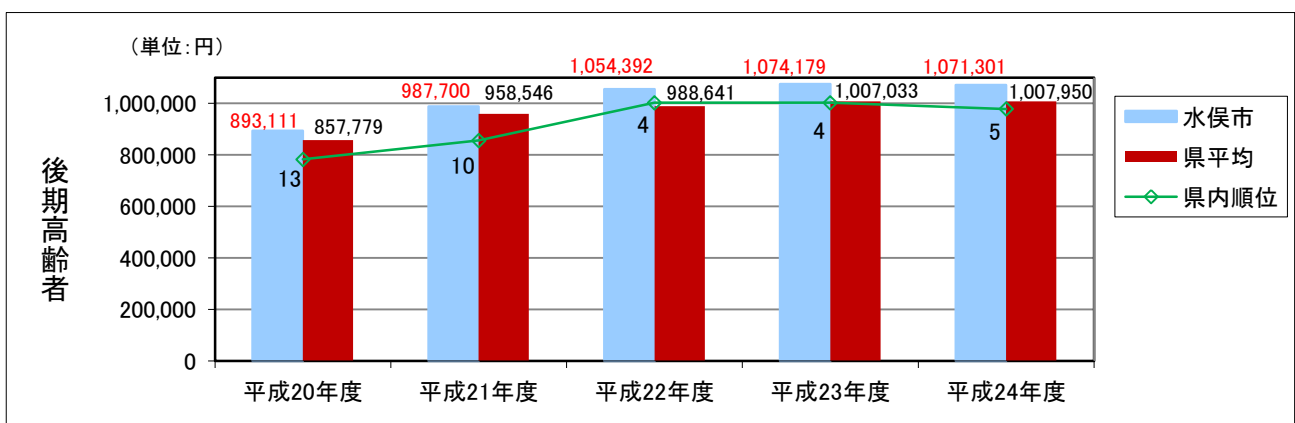
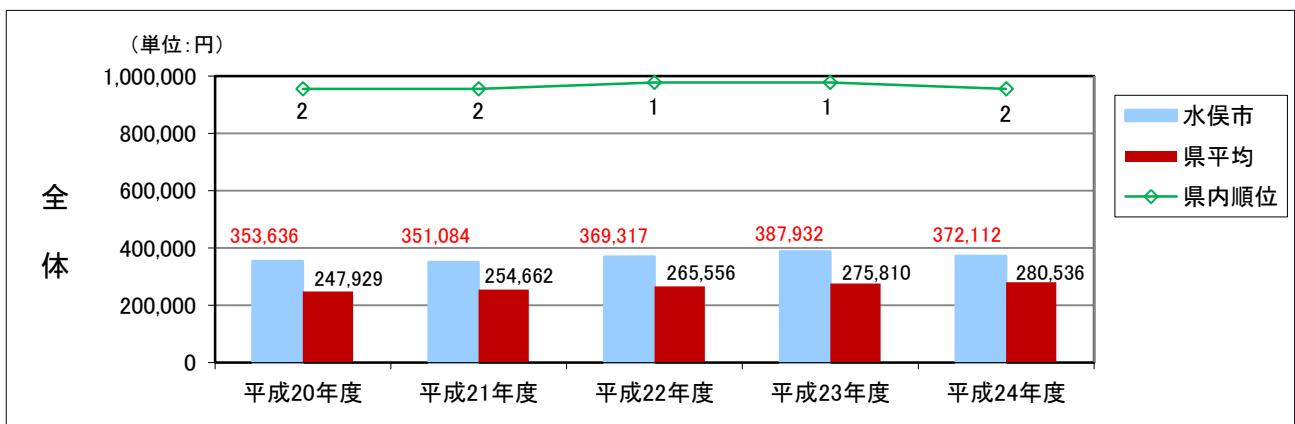
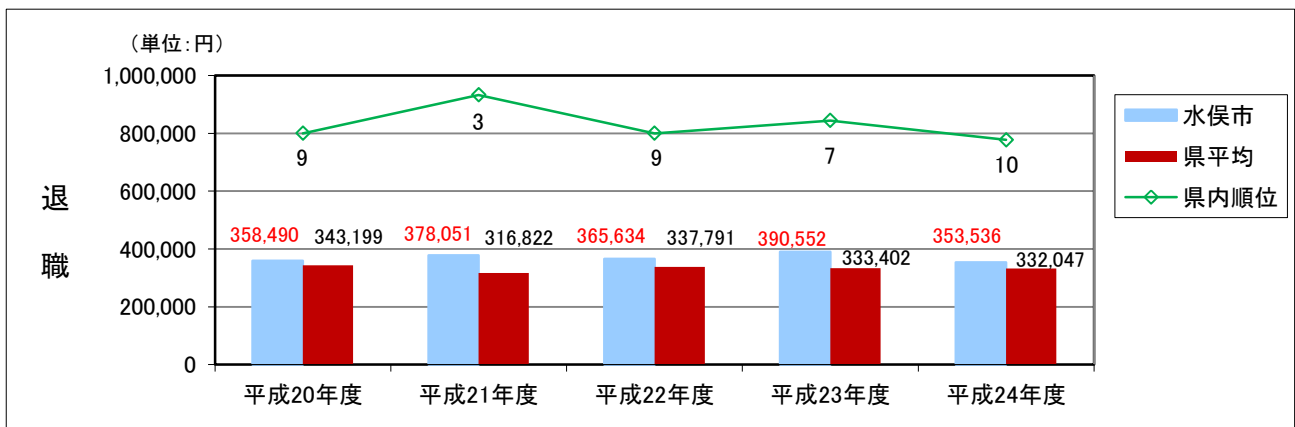
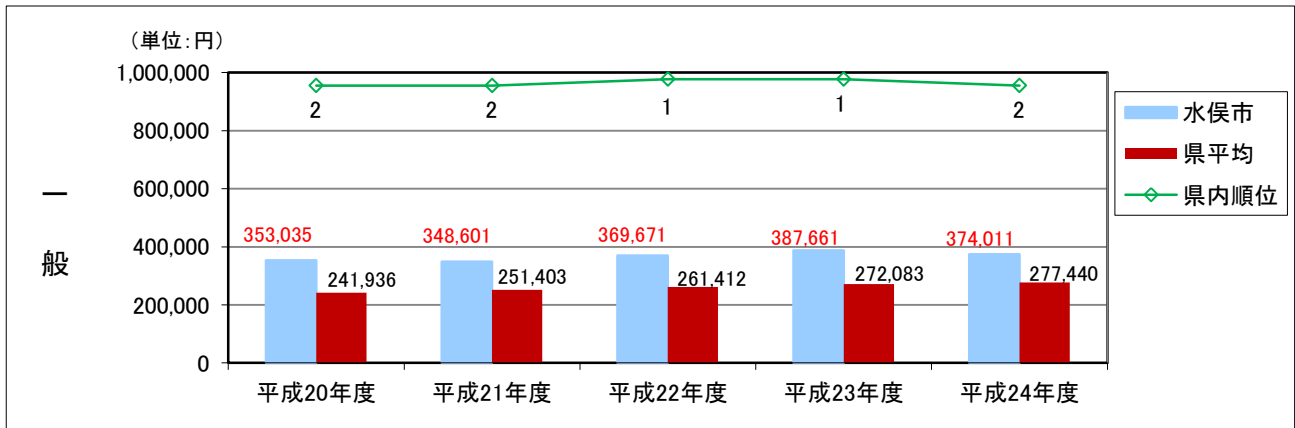


市民課年金医療保険係（市役所内）の職場風景



健康高齢課健康推進係（もやい館内）の職場風景

法制別 1人当たり診療費



注：一般は国保被保険者のうち退職者医療制度の適用を受けない者、退職は被用者年金の老齢（退職）年金受給権者で被用者年金の加入期間が20年以上又は40歳以降10年以上の者及びその被扶養者、全体は一般と退職の合計。